

靱公園 プラットフォーム通信

"靱公園&地域"デザインプラットフォーム会議(I回目) 記録概要

靱公園では、市民のみなさんによるさまざまなイベントや取組が行われています。靱公園に関わる皆さまにご参加頂き今年度より「プラットフォーム会議」を開き、公園や地域がどうなれば良いかや、公園の使い方・問題点などを話し合う場を設け、公園運営に活かしていきます!

[1回目会議] 日時:令和6年8月21日(水) 午前10時~12時

場所:モリタテニスセンターうつぼ会議室1 参加者:31名

テーマ1 "靱公園&地域"デザインプラットフォーム会議を、立ち上げよう!

- ■「靱公園と地域の未来像」について
- ・ まずは靱公園や地域が目指す方向をみんなで共有するため 「靱公園と地域の未来像」を設定したい。
- この会議でとりくみたいこと
- ・ どうするか具体の「目標」を会議で検討したい。
- ・ 今の公園では実施が難しいことも試行イベント等を通じ みんなの理解が得られるルールづくりを考えられたら良い。
- 公園の目標について
- · 子どもたちが住み続けたいと思うまち。
- ・自然豊かで利用も盛んな都心の森。
- ・ 公園を自分事として捉える人の輪を拡げたい。 (「うつぼ公園みらい会議」の実施で生まれた「My park」の言葉のように…)

靱公園の課題や問題点へのご意見

公園の歴史・自然

- ・公園の歴史を伝える案内が必要だ。 (飛行場跡地等)
- ・バラの美しさにチョウがいる事が本来の豊か さ。市内の貴重な生物の生育拠点となってい るので、公園活用は生物への配慮が必要。
- ・土に触れる事は喜び。この喜びを拡げたい。

子どもと地域

・子どもたちが住み続けたいと思う地域にした い。 靱公園は子どもと地域の接点に最適。

快適な公園づくり

- ・トイレの汚れは、利用が敬遠される。和式トイレは幼児や外国人が使いにくい。
- ・ゴミが散乱している。 (有料化し売上を公園美化に回す仕組づくり)

- ・蚊が多く利用に影響する。 (集水桝への対策、ボランティアで対策、 蚊を学ぶ会開催、蚊も生態系の一部)
- ・きれいな施設はきれいに使ってくれるもの…
- ・犬散歩の利用が多くドックランへの要望がある。

公園のルール

- ・民活の売上を公園美化など運営へまわす仕組みを 検討したい。公園の運営費用捻出は全国的な課題だ。
- ・公園周辺のレストランの占有利用を許容できる 仕組みづくりを考えたい。(Park-PFI 制度参考)
- ・収益性のあるにぎわいイベント開催は「靱公園と 地域の未来像」に基づくあり方を検討すべき。
- ・地域と共に創るにぎわい等、地域が納得できる 公園運営を進めて欲しい。



テーマ2 秋の交流パーティーをみんなで企画しよう!

● どこでやるのか

・ 東西園の一体化、なにわ筋のにぎわいづくりを目指しておりテニスセンターロビーを候補に検討。⇒なにわ筋に拠点を置く東西園一体化は、公園運営の将来に関わるポイントとして考えていきたい。⇒東西園の一体化は、最優先課題とはならないのではないか。利用の中でそこまで不便は感じない。

■ どんなパーティーか

- ・ 靱公園へ思いを持ち活動している人は多い。みんなの靱への思いを具体化できる会に。
- ・ 靱公園や地域の課題、対応策を議論したい。
- ・ 具体化に関する話をする中で、「地域と公園の未来像」のビジョンへ反映したい。

● やり方を考えよう

・ 靱公園の課題を広く共有し参加者同士の交流を深めることのできるやり方が良い。 (パーティーやワークショップなど)

・ パーティーは交流や互いの価値観を共有する上で有効なやり方。公園利用者も立寄り参加できる場になればよい。

- · うつぼ公園みらい会議での成果も活用し、発展させるべき。
- ・ 議論をしっかりするために会議と交流会を分けた方が良い。
- ・ 交流会を催すならば低額な会費制で、実施できればよい。

テーマ3 これからの進め方は!

- ・ 当面は今の参加者を中心に、会議を開催したい。
- ・ 各回の結果や予定については、参加者にプラットフォーム通信にて発信したい。
- ・ 主要な活動については、利用者へアンケートを実施したい。

「靱公園と地域の未来像(初期案)」

靱公園と地域の課題や今後について、地域の方がどうお考えかを教えて頂くため、公園周辺の連合振興町会会長の皆さまから意見を伺いました。(令和6年5月28日開催)お話の中から「歴史・未来」「自然・土」「みんな」の3つのキーワードを抽出し、『靱公園と地域の未来像』初期案を作成しました。方針として、公園運営に据えたいと考えています。



- ・靱公園に刻まれた地域の歴史、スポーツの歴史を大切にしながら、未来へ継承したい。
- ・これからも人々の思い出となるような利用の場となってほしい。

自然・土

・豊かな利用を生み出す自然を、かけがえのない公園の基盤として、 保全活用していきたい。



- ・公園利用者はもちろん、周辺住民、店舗利用者、従業員など、地域にかかわるすべて を「みんな」とし、みんなが豊かな時間をすごせる公園にしたい。
- ・今までの活動を大切にしながら、みんなの地域への思いと公園活動を結ぶ仕組みを 整え、活動の輪を拡げたい。

作成: 靱公園指定管理者 "靱公園&地域"デザイングループ (令和6年9月発行)